PLAY PARK ―宝ヶ池プレイパーク―

NEWS LETTER 2010

写真：川遊び

うるさいほどにセミの声が聞こえてくる夏。
今年は、毎日最高気温を更新し、９月になっても残暑が残る
長く暑～い夏となりました。
プレイパークは夏休みの自由研究で虫を捕まえにくる子供たち
でにぎわいました。

2010年１０月７日発行

PLAY PARK ―宝ヶ池プレイパーク―
（財）京都市都市緑化協会　宝ヶ池運営事務局（担当/野田・小川）
TEL：075-352-2500　FAX :075-352-2226　E-mail: kaerusenpai@kyoto-ga.jp

STAFF Report

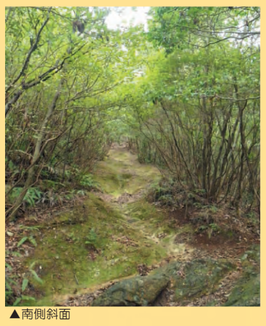
９月19日 宝が池～東山
宝が池と東山のフィールド調査

９月１９日、フィールド調査を含めたスタッフ研修を行いました。研修には、リーダーのさっちんや梅小路公園の管理人こたやんなど、全部で１０人ほどが参加してくれました。
午前中は、これまであまり入っていなかった宝が池の南側斜面の調査。新宮神社をすぎて、森に入るための鳥居をくぐると、かなり雰囲気のある祠がありました。すぐに頂上だけど、一応・・・安全祈願（笑）

▲急斜面をのぼります

急斜面を登っていくと北側よりも下草・灌木類が多く、シカ害も見られない様子。北側とはだいぶ雰囲気が違いました。「子供たちが登るなら、喜びそうだね～」と言い斜面をあがり、頂上の法の字の展望ポイントへ・・・。その後、虫こぶや、ナラ枯れの様子などを観察しながら、尾根からアカマツ林近くまでを調査。
午後からは東山に移動、“法然院森のセンター”へ向かいます。ここは、まちの人と共に、子供のための森の教室や、森林学習を念頭にお寺の森を整備する“観察の森づくり”、体験型プログラムの“オープンルーム”など幅広い活動を行っているところです。法然院を見学した後、フィールドである法然院の森林を見学させていただきました。
鬱蒼としたスギ林から頂上を目指します。整備された斜面は登りやすく、木には樹名板、わかれ道にはきれいな看板が立ててあり、ちょっとワクワク・・・。どうやら、ここの森は、夜にはムササビが見れるらしいです。頂上ちかくには、明るく植生も豊かな観察に向いたフィールドがありました。ここのフィールドは、「観察・遊び・整備」といった目的に分けた森の手入れがされていて、活動の内容がよくわかるフィールドとなっていました。
一日中歩き回ってへとへとになりましたが、京都内の他地域のフィールドを見たり、宝が池の新しい楽しい場所が見つけられたりと、今後の活動につながる研修となりました。次回はまた、季節を変えてフィールド研修を行いたいですね！

▼法然院森のセンター



▲南側斜面

▲森の入り口には祠が・・・。どきどき感を誘いますね・・・。

自然あそび教室　特別プログラム
夏のわんぱく自然教室

8/3,　8/10,

１日目～この日は朝からいい天気！子供たちは、始まりの挨拶もそこそこに、やってくるなり次々に川に入って行きます。カエルや魚を捕まえてはバケツに入れて行きます。先生が水の中の虫の捕まえ方を教えてくれると、今度は虫とりに夢中・・・。どんどん上流に虫を探しに行ってしまい、子供たちは全然戻って来ない・・・。しょうがないので、子供たちのいる場所に先生がやってきて、出張勉強会を開いてくれました。捕まえた水生昆虫を次々と取り出しながら、どんな所にすんでいるのか、どんな生活をしているのか、ひとつひとつ丁寧に、楽しく解説してくれました。普段は見ない、水の中の小さな虫たちの不思議な形態に、遊びに夢中だった子供たちも興味しんしんで覗き込み、真っ赤なザリガニがでてくるとおおはしゃぎでした！

２日目～夏休み最終日のこの日もいいお天気で、たくさんの人が遊びに来てくれました。受付を済ませたら、まずは、魚をとるための「もんどり」づくりです。ペットボトルをカットして、餌を入れれば、できあがり！それぞれ、魚がたくさんとれるように、思い思いの絵をペットボトルに描いていました。
もんどりを川に設置したら、子供たちは早速、カエルや魚をおいかけます。平日の大雨で流されてしまったのか、水生昆虫は前回よりもちょっと減ってしまっていましたが、子供を抱いたサワガニや、お腹がパンパンの川エビなどこの日の川は出産ラッシュ？！でした。
午後からは、水質検査を行った後、ちょっとだけお勉強。けんさんから水の水質と、生き物の種類の関係について教えてもらいました。

▲かえるたくさん～

▲出張せんせい

▲もんどりづくり

▲出産ラッシュ！

▲けんさんとお勉強

自然あそび教室開催報告

開催　pm1:00オープン

自然あそびくらぶ
藍の生葉でハンカチに模様をつけよう！

9/4（sat）

藍の生葉は盛夏に採集して使う季節のものです。ここのプレイパークでは採集できませんが、せっかくいただいたので、藍の生葉を使って、ハンカチに模様をつけました。
ハンカチの上に葉っぱを置いて、木槌でトントントン・・・。葉っぱを外すと、きれいな葉っぱの形がハンカチに模様を作ります。模様をつける葉っぱを選ぶ子供たちは真剣そのもの・・・。大きさを揃える子がいれば、個性的な形の葉っぱを探す子もいます。作る模様もさまざま！きれいに並べて幾何学的な模様をつける子もいるし、ランダムに自由に（適当に？）並べる子もいます。木槌でトントンとするのも楽しいらしく、男の子達は叩きすぎて新聞紙が切れてしまう子も・・・。単純な作業ほど夢中になっちゃうものなのかな？この日、プログラムが終わった後に、設置していた鳥の巣箱を取り外しました。中をチェックすると、いくつかに営巣した跡が・・・！！！みんなで作った巣箱で営巣してくれていたとわかると、やっぱりうれしいですね！

自然あそびくらぶ
古代の生活体験　縄文式土器をつくろう！

9/18（sat）

埋蔵文化財研究所さんにご協力いただいている縄文生活プログラムです。午前中は、あんぎん編みや、火起こしをして楽しみつつ、人が集まった午後から、土器づくりを行いました。前回作った竪穴式住居の前で、一生懸命に火起こしに挑戦！土器づくりがはじまると、吉崎さんが縄文式土器の作り方を教えてくれました。まずは粘土をヒモ状に伸ばします。大きな葉っぱをろくろ代わりにして、その上にひも状の粘土をぐるぐると積み上げていきます。形ができたら模様つけ。ここが縄文土器の大事なところです。様々な道具をつかっていろんな模様をつけてみました。
個性的な縄文式土器がたくさんできあがりました。中には土器ではないのも・・・・。土器づくりが終わった後、途中だったあんぎん編みを再開した女の子たちはすごい集中力・・・。黙々とどんどん編んでいきます。終わってみたら、
３０～４０ｃｍほどの長さになっていました。「すごいね。」と言ったら、「何となく編んじゃう～」と女の子たち。恐るべし、あんぎん編みの魅力・・・。

The Environment Report
９月の宝ヶ池の様子

まだまだ暑く、残暑の残る９月。今年は、ガの幼虫などのイモムシが多く見られ、そのせいかせっかく実のついたひょうたんやヘチマの葉が食べられてしまいました。数日ですべての葉がなくなり、育ちかけの実は大きくならずに枯れてしまいました。３日の日には、府大の学生さんと共に樹名板を作ったり、林縁に増えたアサザやササ狩りや落ち葉溜めをつくるなどフィールドの手入れを行いました。
今年の夏は気温が高く、各地でナラ枯れが起きています。京都でもナラ枯れはひどく、季節外れの紅葉のように東山が染まってしまい、御所のコナラもなんと１００本近く虫が入ってしまったとか・・・。プレイパークも例外ではなく、大きなコナラが数本枯れました。今年しいたけ菌を打ったホダ木にも入ってしまい、今後が心配されます。

PLAY PARK ―宝いっぱいプレイパーク―
NEWS LETTER 2010

通常プレイパーク開催報告

日曜・祝日開催　am10:00オープン

8月

08（sun）
22（sun）
29（sun）
28（sun）

9月

05（sun）
12（sun）
19（sun）
22（wed）
26（sun）

拾ってきた葉っぱで
何が作れるかな？

The Environment Report
８月の宝ヶ池の様子

ぐっと気温が上がった８月。晴れの日がつづき、アブラゼミやヒグラシ、コクワガタなどの虫をたくさん見かけるようになりました。葉盛り期の中、クサギの花がいい香りとともに美しく咲きそろいました。秋のクサギ染めが楽しみです。
８月の終わりごろには、セグロアシナガバチやクマバチなどのハチやアブ類や、チョウやガ、バッタ類が出没しはじめました。小屋の裏に生えていたヨウシュヤマゴボウが足元を被うように大きく茂り、キリの木も一気に成長。大きな葉っぱにはスズメガの幼虫などを見ることができました。